

期 昭和六十年七月一日、七月二十日
於 大学図書館二階展示ホール

絵地図（古地図）

古地図とは、明治維新以前のものをいう。日本の古地図は、鳥瞰図が全体を占める。観光図、道中図などの絵地図と、それら装飾的な部分を排除した簡略的な平面図に大別される。江戸期の絵地図と平面図、そして明治期の西洋技術導入により作られた現代地図を各々展示した。

(1) 蝦夷之図

手写彩色地図一軸 タテ 69 cm ヨコ 102 cm
名改正「蝦夷地名・ロシア名両用」朱書「黒川文庫」
カ半島などが平面図として日本全土、カラフト、アリューシャン列島、カムチャ

(2) 新增細見京絵図大全

彩色木版地図一舗 タテ 70.2 cm ヨコ 99 cm
文久三年（一八六三）三刻 京都 竹原好兵衛板 天保五年（一八三四）開板
の三刻 題簽角書「元治改正」寺院の建物も描かれている。

(3) 高野山細見絵図

浅井公英画 タテ 72 cm ヨコ 147 cm
色刷絵図一舗 角書「再刻増補」
山城屋茂八板 鳥瞰した絵図 折疊 タテ 24 cm ヨコ 20 cm 刊年不明

(4) 東京御絵図

東京御絵図一舗 彩色 タテ 52 cm ヨコ 73.6 cm
石版地図一舗 彩色 タテ 52 cm ヨコ 73.6 cm
東京の児玉弥七、明治十二年（一八七九）刊 題簽角書「名所絵入」表紙付

(5) 東京大小区分絵図

東京大小区分絵図 佐々木轍序
松浦宏著 佐々木轍序
石版地図三十舗 タテ 40 cm ヨコ 38 cm
東京の加藤又兵衛 明治甲戌七年（一八七四）刊 魏町平川町永田町元園町紀尾井町部の「東京大小区分絵図」の三十舗のうち、「魏町平川町永田町元園町紀尾町二丁目四番地に、本学の前身である帝国婦人協会実践女学校は、東京市魏町区元園